

案件 No. BZ23-019

技術商談会日程：12/1（金）10:30～17:00 | 会場：まるまるひがしにほん

【タイトル（30字以内）】 再接合やリサイクルが可能な自己接合ゴム材料の用途探索	
依頼企業の概要	<ul style="list-style-type: none">・企業名：NOK 株式会社・URL：https://www.nok.co.jp/・事業内容：シール製品・工業用機能部品・電子部品等の製造・販売
提案者に求める協業形態（複数選択可）	<input checked="" type="checkbox"/> 共同研究・開発 <input checked="" type="checkbox"/> 技術ライセンス <input checked="" type="checkbox"/> 試作対応 <input type="checkbox"/> 受託開発 <input type="checkbox"/> 受託加工 <input type="checkbox"/> 部材供給 <input checked="" type="checkbox"/> 技術シーズの事業化 <input type="checkbox"/> その他（ ）
産業分野（複数選択可）	<input checked="" type="checkbox"/> 医療・ヘルスケア <input checked="" type="checkbox"/> 環境・エネルギー <input type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> モビリティ <input checked="" type="checkbox"/> 機械・精密 <input type="checkbox"/> 測定・計測 <input type="checkbox"/> 電気・電子 <input checked="" type="checkbox"/> 化学・素材 <input type="checkbox"/> 食料品・飲料 <input type="checkbox"/> 情報通信 <input type="checkbox"/> IoT <input type="checkbox"/> AI <input type="checkbox"/> その他（ ）
技術ニーズ概要（200字程度で記載してください）	加硫（架橋反応）はゴム製品に必須の工程であるが、一般的な加硫は不可逆反応のため、ゴムは切断したものの同士の再接合やリサイクルが難しい。NOKでは可逆結合をゴムの架橋に用いることで、再接合やリサイクルが可能なゴム材料（自己接合ゴム）をシーズ技術として研究している。自己接合ゴムを応用した製品や用途について調査を進めている。
< 案件内容 >	
1) 技術ニーズ詳細とその背景等	
<ul style="list-style-type: none">・ 加硫（架橋反応）はゴム製品に必須の工程であるが、一般的な加硫は不可逆反応のため、ゴムは切断したものの同士の再接合やリサイクルが難しい。・ NOKでは可逆結合をゴムの架橋に用いることで、再接合やリサイクルが可能なゴム材料をシーズ技術として研究している。	
2) 想定している用途・仕様	
<ul style="list-style-type: none">・ 再接合やリサイクルが可能なゴム材料について、幅広く用途を調査・募集したい。	
3) 想定されるスケジュール、ビジネス規模	
<ul style="list-style-type: none">・ NOKではシーズ技術として研究開発の段階。具体的な製品イメージをもって共同研究等できるとよい。スケジュール・ビジネス規模は未定。	
4) 現時点で求める技術の完成度	
<ul style="list-style-type: none">・ 特になし	
5) 期待する技術提案の方向性	
<ul style="list-style-type: none">・ 特になし	

6) 対象外とする技術提案の方向性

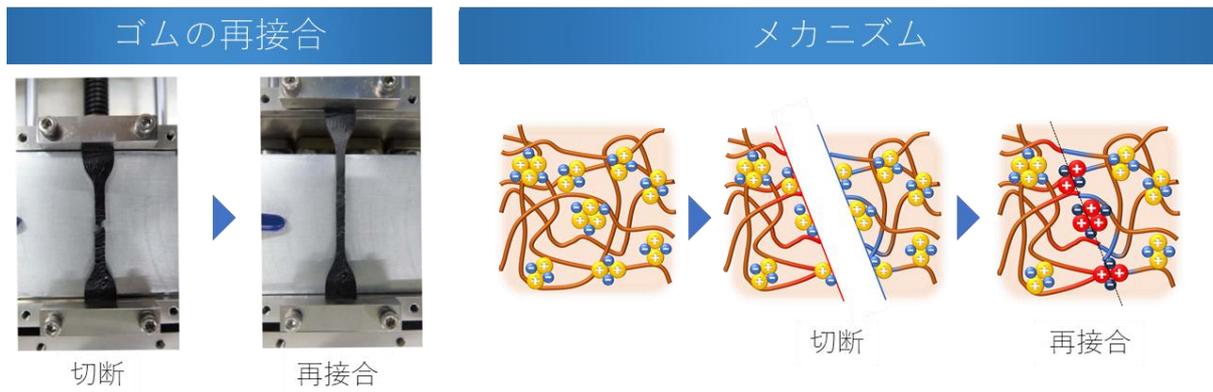
- ・ 特になし

7) 留意点

- ・ 特になし

<参考イメージ（画像・写真等あれば）>

自己接合ゴムのメカニズム



▼お問い合わせ先

公益財団法人さいたま市産業創造財団

BIZ SAITAMA 2023 事務局

<https://onl.sc/tFXtR8j>